



みずの通信

税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

2015. 5

「春に三日の晴れなし」と言われるように雨の日が続きましたが、ようやく晴れた暖かい日がやってきました。

今年はゆっくり桜を愛でることがなかったですが、それでも事務所近くの柳津境川の桜と自宅近くの清水川の桜はのんびりと観てきました。

ギターはずーっと休んでいるし、本もあまり読んでいないし、映画も観ていないし・・・でも、もう少ししたら、ゆとりができるのではないかと楽しみにしています。

ドラマ

そんな中で韓流ドラマの「火の女神ジョンイ」をDVDで観てました。朝鮮王朝初めての女性の陶工の話ですが、相変わらずの陰謀と王族とのラブロマンスの話です。



時は豊臣秀吉の晩年、朝鮮出兵の頃。秀吉が偶然手にした朝鮮の器をたいそう気に入り、それを作った陶工を日本に連れてくるように命じます。それがユ・ジョン、主人公の女性でした。彼女が多く数の陶工の代わりに朝鮮に攻めてきた倭国の侍によって日本に連れていかれるところでドラマは終わりますが、その後、九州に住み、陶器を作り、有田焼の母と言われるようになったとのこと。本名はペクパソンといいます。

秀吉の朝鮮出兵の時、多くの朝鮮の陶工が日本に連れてこられたそうです。その数、1000人とも言われていますが、多くが九州に住み、質の高い磁器を日本に伝え、有田焼をはじめ、唐津焼、薩摩焼など日本を代表する産地となりました。

さて、ドラマの中で、庶民は木椀で食事をしていました。日本ではどうだったのだろうとネットで調べてみましたが、日本では江戸時代でも庶民が使う食器は、木椀か「かわらけ」といって釉薬を使っていない素焼きの陶器だったようです。1800年ごろから釉薬を使った食器で食事をするようになったとのことで、江戸の時代劇で出てくる居酒屋の場面は、実際はずいぶん違うものだったのでしょうか。また「織部」「志野」等の器は、名品となれば高価なものですが、秀吉の時代は、陶器そのものが高価なものであり、私たちの今の感覚とはさらに大きく違った高価さだったのではないのでしょうか。



ことば

「タブレット」、辞書を引くと「木、金属、石の平板」とあります。紀元前何千年のメソポタミヤ文明の石板が50万枚以上発見されていて、その大半が商取引を記載、記録したものだそうです。記帳の重要性はメソポタミヤ文明の時代から認識されていたようです。

「オプション取引」、辞書を引くと、日本語では「予約」と訳されます。実務を見ると複雑な

金融取引をいい、私の感覚では「信用取引」と感じ、日本語訳がしっくりきません。

本によると、昔、オリーブの搾油機の賃借権を手付金を打って買い占めた人がいて、その年のオリーブは豊作だったため、収穫時期になると賃借したい人が殺到し、買い占めをしていた人は大儲けしたそうです。わずかなお金で多くが買える、「付け」で物が買える、これは「信用取引」と感じてしまうのですが、実は、わずかなお金で多くを購入するために手付けを打って予約する取引なのです。「オプション」を「予約」と訳す理由がすっきりしました。

専門用語で「オプション」という言葉を使い、難しいとのイメージで取り掛かる私にとって、最初から自国語の意味で理解していけるアメリカ人が羨ましく感じました。



これも本からの話です。

様々なテクニックを使い株価予想するファンドマネージャー、そのほとんどが、結局、長期的利回りにおいてはインデックスファンド（日経平均連動等）には勝てなかったという調査結果があるそうです。「そうは言うが、何度も予想を当ててすごい富を手にした投資家がいる、それらの人には面白い共通点がある。」との意見もあるでしょう。それに対して、「コイン投げをすれば、誰かが何度も勝ち続けて、最後まで生き残るものができる。最後まで生き残った者が20人ほどいたとすれば、その20人を調査分析すれば、それは何らかの共通点を見つけ出すことができるだろう。そしてその共通点を見つけたことで人は狂喜するが、それはオラウータンにやらせても同じことになる。」と論じていました。

こういう議論を学問の場でやりあうアメリカ人の凄さを感じます。



まつり

犬山まつりを初めて観ました。あいにくの雨で、山車には透明ビニールをかけての練り歩きで、しかも早々と切り上げてしまいましたが、なかなか大きな山車であり、迫力がありました。見ごたえある祭りです。

関まつり、本町の長い直線通りに屋台が立ち並び、多くの人で賑わいます。夜になると、こちらはあんどんみこしコンクールが行われ、入賞せんとたくさんの神輿が行列をつくりまします。なかなか凝った神輿があり、からくりもあります。とにかく若い人たちが威勢よく、自分たちの創った神輿を誇らしげに担いでいくのが活気を生んで祭りを盛り上げます。若い人が多い、というのが印象的でした。

大垣のまつりはまだ観たことはありませんが、「大垣祭のやま行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されたとか。一度観てみたいと思います。

岐阜市は道三まつりと信長まつりがありますが、春の道三まつりのとき、夜、宵宮祭りがあります。これは多くの神輿が伊奈葉神社に集結して、激しく囃し立て、挑発しあいます。なかなか勇壮ではあります。

私は全国的にメジャーなお祭りはほとんど観ていませんが、本当に、お祭りは日本全国多いですね。



銀（しろがね）も金（こがね）も玉も何せんに
まされる宝子にしかめやも（山上憶良）